記　者　発　表　資　料

令和３年　３月　３日
南三陸国道事務所
大　　槌　　町

三陸沿岸道路に新たに津波避難階段が完成

～安全で迅速な避難を後押し～

南三陸国道事務所では、三陸沿岸道路が東日本大震災において『命の道』として機能を発揮した事例を踏まえ、岩手県上閉伊郡大槌町の三陸沿岸道路に「津波避難階段」を整備しました。

これを受け大槌町では、津波避難階段を利用して高台にある三陸沿岸道路沿いの避難場所へ迅速に避難できるよう、地元自治会役員を対象とした現場説明会を行いますのでお知らせします。

■日　時：令和３年３月６日（土）　９時００分～１０時００分
※雨天決行

■会　場：大槌町桜木町９番地（別添参照）
「桜木町三陸沿岸道路避難スペース」（桜木児童公園付近）

■対象者：大槌町桜木町自治会
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から役員等を対象としてます。

【発表記者会】　岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、東北専門記者会

問　い　合　わ　せ　先

【現場説明会に関する問い合わせ】
大槌町　危機管理室　室　長　田中（たなか）　恭悦（きょうえつ）
電話　０１９３－４２－８７８１（内線１０９）

【津波避難階段に関する問い合わせ】
国土交通省　東北地方整備局　南三陸国道事務所　副所長　岩渕（いわぶち）　敦（あつし）
電話　０１９３－２８－４７３１（内線２０４）

別　添

位置図



出典：地理院地図に会場等を追記して掲載

詳細図



【津波避難階段全景】



三陸沿岸道路　岩手県上閉伊郡大槌町での整備効果　【参考資料】

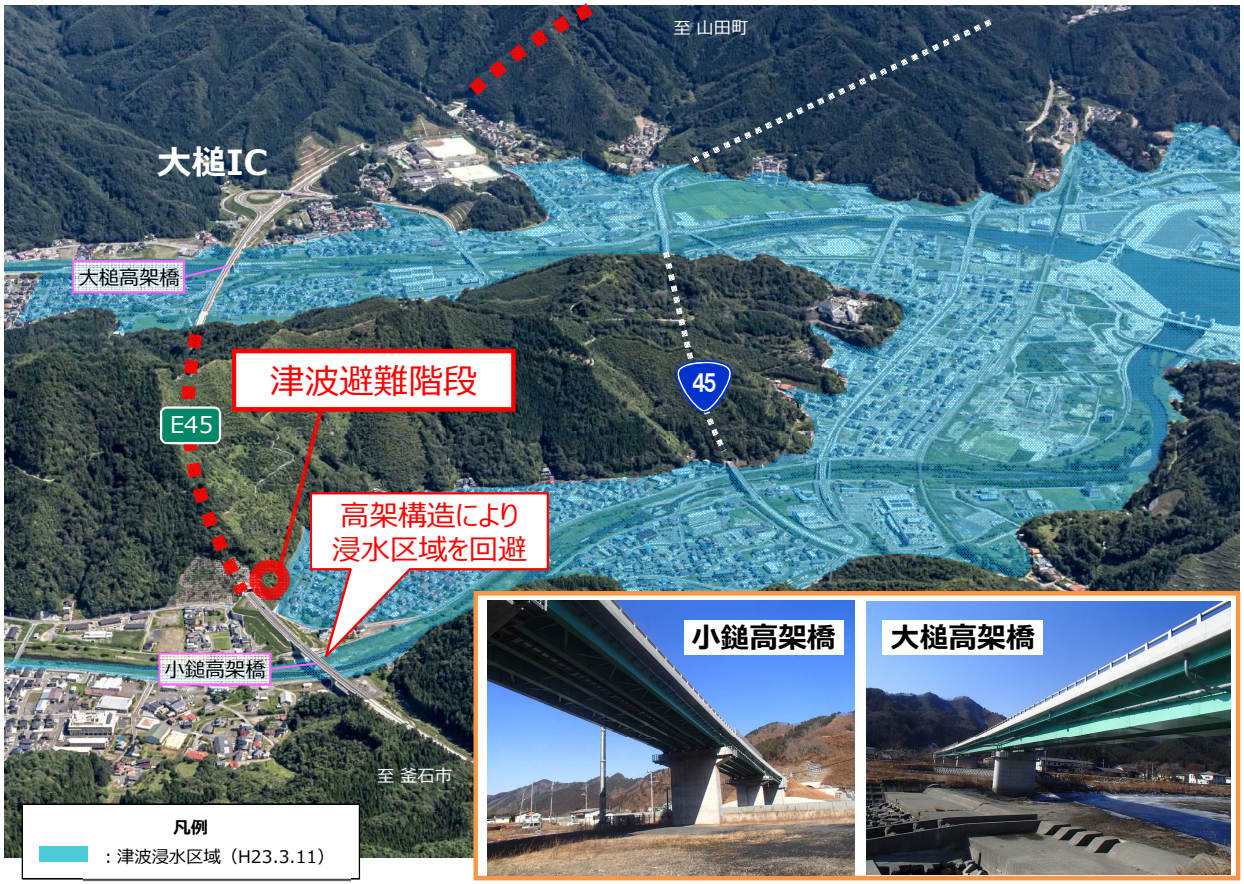
◆三陸沿岸道路は津波浸水区域を回避、または高さのある橋梁などで通過し、強靭な高速道路ネットワークを構築。
◆大槌町では、まちの玄関口としてICが機能。大槌ICから中心市街地への動線が整備され、復興まちづくりを支援。
◆東日本大震災の際に「命の道」として機能した事例を踏まえ、三陸沿岸道路に津波避難階段を設置。災害時の地域の避難機能を強化。

■三陸沿岸道路　６つの設計コンセプト

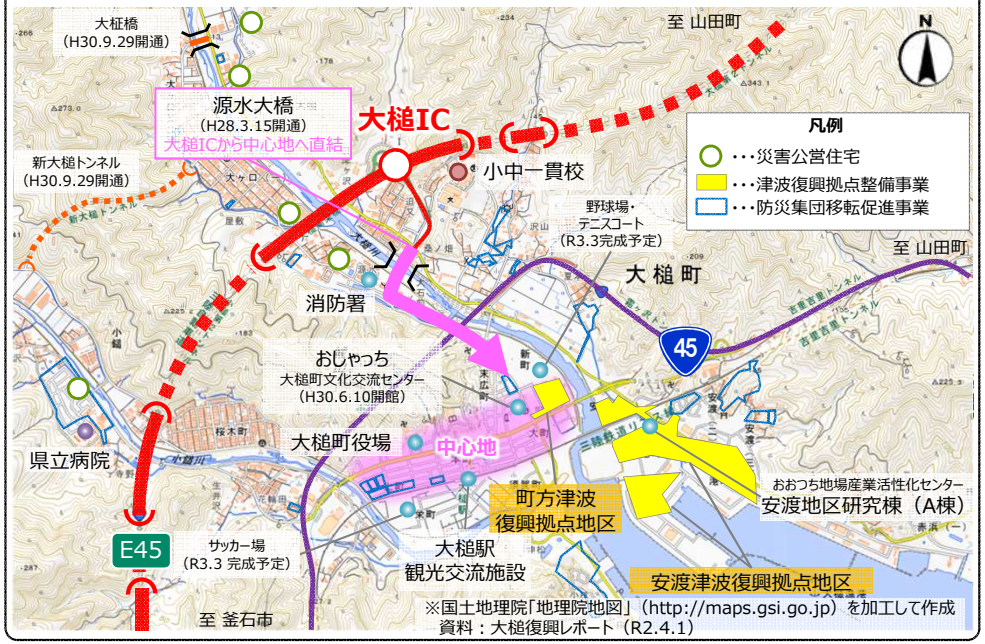
- ①強靭性の確保（ルートは津波浸水区域を回避）
- ②低コストの実現
- ③復興まちづくりの支援
- ④拠点と連絡するＩＣ等の弾力的配置
- ⑤避難機能の強化（緊急避難路、避難階段等の設置）
- ⑥ＩＣＴ（情報通信技術）による通行可能性把握

※太枠は釜石山田道路（大槌町）の事例

■津波浸水区域を回避して強靭性を確保



■ICを玄関口として広がる大槌町の復興まちづくりを支援



■津波避難階段の設置により、災害時の避難機能を強化

今回現場説明会を実施する津波避難階段　大槌町桜木町（さくらぎちょう）

